

令和三年度 秋季 鎌倉俳句 & ハイク

期間 令和三年八月一日～令和三年十月末

選者 星野椿、星野高士

特選三句

天 名月を水に宿すや源氏池
神奈川県横浜市 山下 省三

地 風なくて源平池の散紅葉
神奈川県横浜市 田阪 武夫

人 深沢の秋夕焼をモノレール
神奈川県茅ヶ崎市 原田 博之

入選句

一般の部 (二十句)

錦秋を諸人仰ぐ瑞鹿門
東京都港区 伊集院 秀樹

残暑いま竹の擦れ音報国寺
神奈川県横浜市 岡田 敦子

栗ひとつ頬張る母の顔いとし
神奈川県横浜市 荻野 栄美

寺の奥尼僧の影や青蜜柑
神奈川県川崎市 小関 新

名を訊かれ紫苑と答ふ東慶寺
神奈川県横浜市 加藤 文男

竹の春ひっそり小さき石仏
神奈川県横浜市 金子 きよ

あめつちをおほひかくすや朝の霧
埼玉県川口市 櫻井 義男

鎌倉や散策地図に秋の風
神奈川県川崎市 里中 信

お団子とすすき供えて空見上げ
神奈川県横浜市 鈴木 洋美

面掛のどこか愛らし秋祭
神奈川県横浜市 谷田 八千代

秋晴れや鳥には鳥の航路あり
神奈川県大和市 寺尾 明子

墨染の列整ひて薄紅葉
神奈川県藤沢市 徳江 祐子

塀の内なる尼寺の曼珠沙華
神奈川県鎌倉市 中島 容子

秋涼し漱石想う門の寺
東京都墨田区 西脇 友史

秋麗の子ら集ひけり朝の禅
東京都杉並区 野村 親信

遠浅の波音に間や今朝の秋
東京都町田市 星野 佐紀

砂浜に煌く数多秋の風
東京都町田市 星野 美加子

江ノ電に見る家並も秋気澄む
神奈川県横浜市 牧野 君子

実朝の歌碑に佇む秋日傘
神奈川県茅ヶ崎市 松坂 真理子

あきばれやみしらぬひととまちあわせ
東京都墨田区 守山 駿

子ども部 (十句)

赤蜻蛉明るい光めざしとぶ
東京都中央区 浅生 耀心

空仰ぎ目を泳がせる鰯雲
東京都昭島市 倉賀野 綸

流れ星願いを連れて消えてゆく
神奈川県横浜市 鈴木 美緒

もみじがり今しか見れない赤い山
神奈川県鎌倉市 大沼 優真

きんもくせいそつと香った夜の道
神奈川県鎌倉市 佐藤 暖

風変わり秋のおいがただよった
神奈川県鎌倉市 牧村 逸希

秋雨が足に染みつく建長寺
神奈川県横浜市 石田 悠道

秋の空古都鎌倉で恋みくじ
神奈川県横浜市 大橋 絢太

秋晴れのひいたおみくじ独り凶
神奈川県横浜市 佐野 千依

秋晴れの空一面に鎌倉宮
神奈川県横浜市 和田 真帆子

(順不同)



鎌倉の四季折々を十七文字に・・・
鎌倉俳句 & ハイク実行委員会
〒248-0016 鎌倉市長谷 1-5-3
公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団内
鎌倉俳句 & ハイク実行委員会
TEL 0467(22)5010
<https://www.kamakura-haiku.com/>